

資料2 令和7年度第1回広報懇談会でのご意見・ご提言について（令和7年8月21日開催）

No	ご意見・ご提言	対 応
1	SNSでショート動画を増やすと、もっと気軽に見られると思います。今の若い世代の方々は気になることがあると、TikTokやInstagramなどで#（ハッシュタグ）を付けて、イベントなどの情報を調べることが多いと思うので、始めてみると若い世代にも情報が届きやすいと思います。	ご意見を基に、動画を作る際はできるだけ短めに編集するように心がけています。また、Instagramについては、他市での運用状況などを調べ、導入について検討します。
2	リチウムイオン蓄電池という全体ではなく、具体的に、個別のハンディファンやモバイル充電などをどう捨てれば安全かという内容を掲載していただくと、ゴミの問題もなくなっていくのかなと思いました。 また、広報紙に掲載されていても、大学生など若者は広報紙を見て調べようとはならないので、ホームページでもう一度、分かりやすく掲載していただくと、ゴミ問題の解決に繋げるのかなと思いました。	市ホームページの既存ページ「小型充電式電池・ボタン電池の処分」に、廃棄する前の放電・絶縁処理方法を追記し、より安全に処分する方法を伝えています。 また、市ホームページのトップ画面のスライドで「資源とごみの分け方・収集日検索サイト」を常時掲載し、市民の方の目に止まるよう工夫しています。  市HP
3	11月のスリーデーマーチにずっと参加していますが、参加者がだんだん減ってきてしまっていると感じています。歩くことの楽しさ、面白さがきちんと伝われば、集客につながるのではないかと思います。例えば、ここに絶対カメラマンがいます！とか、コース上の見どころなどが事前に分かると、それを楽しみに参加できると思います。また、撮影した写真をどこで見られるのか、二次元コードなどで教えてもらえたら、来年も参加したくなっていいと思います。	今年度も12月号広報紙で、日本スリーデーマーチについて特集しました。広報紙に載せきれなかった参加者のすてきな写真を市公式Facebookに多数投稿し、広報紙面でも二次元コードを付け周知しました。その結果、昨年度は3日分の合計閲覧数が約4,300件だったのに対し、今年度は約4倍以上の約18,000件の閲覧がありました。
4	生活困窮世帯の子どもたちや外国籍の方、フードドライブや子ども食堂などに焦点をあてた特集があるとありがたいです。	令和8年度の特集案として、他の特集案と共に検討します。
5	広報広聴課の仕事内容（広報紙ができあがるまでの過程や取材方法、SNS投稿、動画作成など）を市民の皆さんに知らせてみるのはいかがでしょうか。市民の方にも、広報紙ができあがるまでにこんなに大変なんだと伝わるとと思います。	令和8年度の特集案もしくは動画やSNS・ホームページを活用した掲載について検討します。
6	民間のホームページでは、1日の仕事の流れややりがい、就職活動でやったことなどが書かれているので、志望動機にも繋がります。 この広報紙が、こういった流れでできていることを伝えつつ、就職活動中の学生から見ても、市役所の仕事が知れるし、公務員志望の学生は志望度が上がると思います。	職員採用を担当する部署へ情報共有を行いました。
7	夏休み前の7月号に、夏休みの宿題や自由研究、遊び場やイベントなどを1つにまとめて特集のよう掲載してもらえるとありがたいと思います。その内容を市内の小・中学生が使っているタブレットへ送ることができれば、子どもたちにも、お父さんお母さんにも情報が届き、活用されていいと思います。	令和8年度の特集案として、他の特集案と共に検討します。
8	広報の効果はどう測定するのかをもう少し考えてほしいなと思います。この広報懇談会の中でも広報に対する意見が沢山出ると思うのですが、できれば広報モニターのような方をお願いして、広報についての意見や要望を市民から直接聞くような機会があるといいのかなと思いました。	今後も、市民の代表として参加委員の皆さんから広報懇談会で意見を伺うとともに、当課で実施している施設めぐりに参加いただいた市民の皆さんから、機会を捉えて意見を収集します。 また、特集掲載後の効果（市民の反応などを含む）も検証していきます。
9	行政目線で色々な東松山市の良さを広報していくだけでなく、逆に市民の方から、こんないい所があるよと写真や原稿でもらえるような機会があるといいなと思っています。	令和7年度から、ミニコーナーの一つで「みんなのphoto広場」の掲載を始めました。現在、7月号、10月号、1月号で掲載し、次回は4月号です（年4回）。まだ、応募件数は少ないですが、市内で撮ったすてきな写真が掲載できています。
10	東松山市は住みよさランキング1位になったと聞いていますが、ここ数年以内に引っ越してきた人たちが東松山市に対してどのような印象を持っているのか、実際に住んでみてどう感じているかといった点の特集で組んでもらえたらと思います。	令和5年度に作成した市制施行70周年記念誌では、転入者・移住者からのコメントをもらい掲載しました。シティプロモーションの観点から、住民の声を聴ける機会を設けていきたいと考えています。
11	ホームページの更新について、市民活動センターのクラブ紹介で活動時間が変わったのに、ページが3～4年更新されていないことがありました。状況に合わせて、更新してほしいです。	広報懇談会後すぐに、担当する地域支援課へ内容の確認と情報の更新を依頼しました。現在は、現状に合った内容で掲載できています。
12	頑張っている自治会、シニアクラブ、花いっぱい活動者なども紹介してもらえると、広報紙を通じて情報発信となり、読んだ方が自分も頑張ろうと思う人が増えると思います。	広報紙面で紹介中・紹介予定です。 ①頑張っている自治会について →令和8年2月号広報紙の特集で掲載しています。 ②頑張っているシニアクラブについて →令和7年度から始めたミニコーナー「いきいきチャレンジ！シニアクラブ」で紹介中（奇数月）。 ③頑張っている花いっぱい活動者について →以前から掲載しているミニコーナー「WITH FLOWERS～暮らしに花を～」で紹介中（奇数月）。
13	ゴミ問題の話が出ていましたが、クリーンリーダーの声を聞いて、広報紙で取り上げてもらえるとうれしいです。	令和7年3月号広報紙で、ゴミに関する特集を予定しています。また、雑がみについて、クリーンリーダーへの取材も行い、掲載する予定です。
14	ホームページのアクセス数が書かれていますが、この数字が実際に多いのか少ないのか全然分からないので、できれば同程度の人口規模の自治体ホームページのアクセス数などの情報も調べて、教えていただけるとありがたいです。	人口規模が同程度の自治体ホームページへのアクセス数（7月・8月分）を調べ、3市と比較しました。1市は当市よりも1か月のアクセス数が1～3万件多い一方、他の2市は当市よりも5～20万件少ない状況で、4市中、東松山市は多い方から2番目のアクセス数でした。
15	第六次東松山市総合計画の内容が決まった際には、分野別に分けて広報紙で取り上げてもらえるのが分かりやすく、ありがたいなと思うのですが、いかがでしょうか。	令和8年4月号広報紙で、第六次東松山市総合計画について特集する予定です。分野別に分け、分かりやすく作成できるよう努めていきます。